

1 医療機関名等

- (1) 医療機関名
- (2) 保険医療機関番号（10桁）
- (3) G-M-I-S医療機関ID
- (4) 医療機関住所
- (5) 管理者氏名
- (6) 回答日
- (7) 担当部署名
- (8) 担当者名
- (9) 電話番号
- (10) メールアドレス

富山県立富山病院
1610110023
11601018
富山市新総曲輪1番7号
富山 寿伸
令和5年7月1日
経営管理課経営係
富山 健康
076-444-8923
ml-toyama-iryosochikyotei@pref.toyama.lg.jp

2 新型コロナ対応の実績確認

- (1) 令和5年1月時点の新型コロナウイルス感染症患者用の最大確保病床数
令和5年1月時点の新型コロナウイルス感染症重症患者用の最大確保病床数
- (2) 新型コロナ対応において、重点医療機関又は協力医療機関としての指定を受けていたことがあるか。
- (3) 令和4年12月時点で、診療・検査医療機関の指定を受けていたか。
- (4) 新型コロナ対応について、自宅療養者等への対応（健康観察・診療医療機関としての対応や高齢者施設等への往診・派遣）を行ったか。
- (5) 新型コロナ対応において、後方支援医療機関としての役割をしていたことがあるか。
- (6) 新型コロナ対応において、他の医療機関等に医療従事者の派遣の協力を行ったことがあるか。
- (7) 新型コロナ対応において、個人防護具を備蓄していたか。

70床
10床
はい
はい
はい
はい
はい
はい

3 感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律（以下「感染症法」という。）の協定締結の意向

新興感染症（感染症法に定める新型インフルエンザ等感染症、指定感染症及び新感染症をいう。）発生・まん延時に迅速かつ適確に講ずるための感染症法第36条の3第1項の規定に基づく協定を締結する意向・その内容について、記載要領を参考にしながら以下の色付きセルに御回答ください。なお、新型コロナ対応において、様々な変化にその都度対応してきた実績を踏まえ、まずは新型コロナ対応での最大値の体制を目指すこととしており、2の新型コロナ対応の実績（最大値の体制）に鑑み、御回答をお願いします。

① 病床確保

患者の受入病床として確保可能な病床（感染症病床は除きます。）の見込数について、以下に病床区分ごとに御回答ください。

※【流行初期以降】は「Withコロナに向けた病床確保計画（令和5年1月4日）」のフェーズ3の病床数、【流行初期】はフェーズ1の病床数を想定しています。

なお、（参考）新型コロナ実績値について、2023年1月の「Withコロナに向けた病床確保計画（令和5年1月4日）」のフェーズはフェーズ3、2020年12月の「新たな流行シナリオを踏まえた確保病床計画」のフェーズはフェーズ2でしたが、フェーズで定める病床数を超えて確保されていた場合は、その最大確保病床数となります。

※確保可能病床数に感染症病床を含める場合は、当該病床数を除いた病床数を御回答ください。また、特別に配慮が必要な患者用病床数には兼用病床を含みます。

（単位：床）

項目	見込数 【流行初期以降】 (発生公表後6か月まで)		(参考) 新型コロナ実績値 (2023年1月の最大確保病床数)		見込数 【流行初期】 (発生公表後3か月まで)		(参考) 新型コロナ実績値 (2020年12月の最大確保病床数)	
	可	床	有	床	可	床	有	床
確保予定病床数（全体）		70床		70床		15床		15床
うち、重症者用病床数		10床		10床		4床		4床
うち、特別に配慮が必要な患者用病床数	可	36床	有	36床	可	36床	有	36床
精神疾患を有する患者	可	1床	有	8床	可	1床	有	8床
妊産婦	可	2床	有	7床	可	2床	有	7床
小児	可	3床	有	6床	可	3床	有	6床
障害児者	可	4床	有	5床	可	4床	有	5床
認知症患者	可	5床	有	4床	可	5床	有	4床
がん患者	可	6床	有	3床	可	6床	有	3床
透析患者	可	7床	有	2床	可	7床	有	2床
外国人	可	8床	有	1床	可	8床	有	1床

※ 後方支援医療機関との連携予定や病床確保に当たった通常の医療への影響（特に流行初期医療確保措置期間中の連携・対応について現時点で予定があれば御記入ください。）等：

特になし

② 発熱外来

発熱外来として対応ができるか、また、可能な場合、(最大の)患者数の見込みについて、以下に御回答ください。併せて、普段から自院にかかっている患者(かかりつけ患者)以外の受入れや、小児の対応が可能か御回答ください。

※電話/オンライン診療を除く対面診療を前提としています。

発熱外来の実施	発熱外来の対応ができる
---------	-------------

※診療所におかれては、対応可能人数や検査実施能力について具体的に記載が難しい場合は見込数を記入しなくても構いません。(単位:人/日、件/日)

項目	見込数 【流行初期以降】 (発生公表後6か月まで)	(参考)新型コロナ実績値 (2022年12月の患者数又は検査数)	見込数 【流行初期】 (発生公表後3か月まで)	(参考)新型コロナ実績値 (2020年12月の患者数又は検査数)
	発熱外来患者数	20人/日	20人/日	20人/日
検査(核酸検出検査)数	20件/日	20件/日	20件/日	20件/日

かかりつけ患者以外の受入可否	かかりつけ患者に限って対応
小児の受入可否	小児患者の対応ができる

③ 自宅療養者等への医療の提供

自宅療養者等への医療の提供(電話/オンライン診療、往診等)が可能かどうか、可能な場合に最大何人まで対応可能か御回答ください。併せて、健康観察の対応についても御回答ください。

※訪問看護事業者におかれては、「往診等」を「訪問看護」に読み替えて御回答ください(「電話/オンライン診療」の欄は回答不要です。)(単位:人/日)

項目	医療の提供の可否及び対応人数 【流行初期以降】 (発生公表後6か月まで)		医療の提供の可否及び対応人数 【流行初期】 (発生公表後3か月まで)		(参考)新型コロナ実績	
	電話/オンライン診療	往診等	電話/オンライン診療	往診等	電話/オンライン診療	往診等
自宅療養者等への医療提供	可	可	可	可	有	有
うち、自宅療養者対応	可	可	可	可	有	有
うち、宿泊療養者対応	可	可	可	可	有	有
うち、高齢者施設対応	可	可	可	可	有	有
うち、障害者施設対応	可	可	可	可	有	有
最大対応可能人数	4人/日	5人/日	5人/日	3人/日	3人/日	4人/日

健康観察の対応	健康観察の対応ができる
うち、自宅療養者対応	自宅療養者等への対応ができる
うち、宿泊療養者対応	宿泊療養者等への対応ができる
うち、高齢者施設対応	高齢者施設等への対応ができる
うち、障害者施設対応	障害者施設等への対応ができる

④ 後方支援

後方支援の対応(回復患者の転院受入れ、病床の確保の協定を締結している医療機関に代わっての一般患者の受入れ)が可能かどうか、以下に御回答ください。

項目	【流行初期以降】 (発生公表後6か月まで)	【流行初期】 (発生公表後3か月まで)	(参考)新型コロナ実績
後方支援	回復患者の転院受入れ及び病床の確保の協定を締結している医療機関に代わっての一般患者の受入れが可能	後方支援の対応は不可	回復患者の転院受入れ及び病床の確保の協定を締結している医療機関に代わっての一般患者の受入れが可能

⑤ 人材派遣

人材派遣が対応可能な人数の見込みについて、以下に御回答ください。

人材派遣の実施	人材派遣対応ができる
---------	------------

※「人材派遣対応はできない」を選択された場合、下記の「⑤ 人材派遣」の記入は不要です。

(単位：人)

項目	見込数 【流行初期以降】 (発生公表後6か月 まで)		見込数 【流行初期】 (発生公表後3か月 まで)		(参考)新型コロナ 実績	
	うち、県外派遣可能な人数	うち、県外派遣可能な人数	うち、県外派遣可能な人数	うち、県外派遣可能な人数	うち、県外派遣可能な人数	うち、県外派遣可能な人数
人材派遣者数計	26名	26名	26名	26名	29名	29名
医師	7名	7名	7名	7名	8名	8名
看護師	12名	12名	12名	12名	13名	13名
その他 (臨床検査技師)	7名	7名	7名	7名	8名	8名
感染症医療担当従事者	4名	4名	4名	4名	7名	7名
医師	1名	1名	1名	1名	2名	2名
看護師	2名	2名	2名	2名	3名	3名
その他 (臨床検査技師)	1名	1名	1名	1名	2名	2名
感染症予防等業務対応関係者	7名	7名	7名	7名	4名	4名
医師	2名	2名	2名	2名	1名	1名
看護師	3名	3名	3名	3名	2名	2名
その他 (臨床検査技師)	2名	2名	2名	2名	1名	1名
DMA T	4名	4名	4名	4名	7名	7名
医師	1名	1名	1名	1名	2名	2名
看護師	2名	2名	2名	2名	3名	3名
その他 (臨床検査技師)	1名	1名	1名	1名	2名	2名
DPA T	7名	7名	7名	7名	4名	4名
医師	2名	2名	2名	2名	1名	1名
看護師	3名	3名	3名	3名	2名	2名
その他 (臨床検査技師)	2名	2名	2名	2名	1名	1名
その他	4名	4名	4名	4名	7名	7名
医師	1名	1名	1名	1名	2名	2名
看護師	2名	2名	2名	2名	3名	3名
その他 (臨床検査技師)	1名	1名	1名	1名	2名	2名

※感染症予防等業務対応関係者は、感染制御・業務継続支援チームの医療従事者・感染管理専門家を含みます。

訓練・研修の実施（医療従事者を対象に自院で実施又は外部の機関が実施するものに参加させることの可否）	可
---	---

⑥ 個人防護具の備蓄

個人防護具の備蓄の予定等について、以下に御回答ください。

※2か月分以上備蓄予定とすることを推奨します。

(単位：か月分、枚)

	備蓄予定 (〇か月分)	備蓄予定 (〇枚)	(参考) 新型コロナ発生・まん延時の消費 量2か月分
サージカルマスク	2か月分	100枚	100枚
N95マスク	2か月分	200枚	200枚
アイソレーションガウン	2か月分	300枚	300枚
フェイスシールド	2か月分	150枚	150枚
非滅菌手袋	2か月分	120枚	120枚

※左記の「新興感染症発生・まん延時の消費量2か月分」は、施設としての使用量2か月分となります。

※N95マスクについては、DS2マスクでの代替も可能です。

※アイソレーションガウンには、プラスチックガウンも含まれます。

※フェイスシールドについては、再利用可能なゴーグルの使用での代替も可能です。この場合において、ゴーグルは再利用が可能であり、有事におけるその医療機関での1日当たり使用量を備蓄することを推奨します。必要人数分の必要量を確保していれば、フェイスシールドの備蓄をすることを要しないものとし、かつ、フェイスシールドの使用量2か月分を確保しているのと同様なものとします。